

Case

19

住空間に調和する 造り付け家具製造工程の確立

家だけでなく家具にもこだわるお客様向けに、家具製作専用の設備を導入し、家具製造体制を整備。新たな注文住宅の提供方法を確立した。ショールームを兼ね備えた工場へ誘客し、既製品にはない無垢の素材の魅力を伝える環境が整った。

事業者名：株式会社緑建設 事業年度：28年度

事業テーマ：自社製造（内製）の家具を造り付けた注文住宅の販売

企業概要



1973年相模原市で創業。注文住宅一筋という経営方針を採っている。空間設計、断熱構造、使用する木材、地震対策への強いこだわりを持ち、生涯を通じて安心、快適に暮らせる家を提供するという真摯な姿勢によりお客様からの信頼を集めている。建築後のアフターフォローも重視し、施工エリアを本社から1時間半以内に限定し、神奈川県、東京都西部、山梨県上野原市のエンドユーザーがターゲットである。耐久性、耐震性、省エネ、健康、環境等を日々研究し、木造住宅の性能や技術力のさらなる向上を目指している。

会社名	株式会社緑建設
代表者名	代表取締役 齋藤 正臣
設立年	1973年
所在地	〒252-0239 相模原市中央区中央 4-5-9
従業員数	7人
資本金	1,000万円
TEL	042-756-3611
FAX	042-756-3637
URL	https://www.midori-kk.com/

「家具製造内製化では社内の反対もあった。」と社長。2020年に断熱基準改正で当社の優位性が弱まることを見越し、ニーズと強みを把握し、家具の内製化によって注文住宅の付加価値を高める戦略をとった。外部環境の変化に対し、経営方針で方向性を明確に示されていたのが好印象であった。

調査員考察



▲導入した家具製造設備



▲代表取締役の齋藤正臣氏



▲導入した家具製造設備



▲造り付け家具の魅力を体感できるショールーム

事業計画の概要

ものづくり補助金では家具製作専用の加工設備一式を導入した。並行して、家具製作専用の新工場の建設と家具職人の採用・育成（補助金申請外）をし、家具製造体制を整備。「家だけでなく家具にもこだわり抜き、真に理想的な住空間を追求できる」新たな注文住宅の提供方法を確立した。

補助事業のきっかけ

注文住宅を建てるお客様は、自分だけのこだわりを追及される方が多い。これまでも家に調和する家具の製作依頼もあったが、家と家具では使用する設備や加工技術が異なるため外注していた。この家具製作工程を内製化し、住宅に100%マッチした作り付け家具付き住宅の提供を目指した。

事業化状況

家具製造を開始してから約6ヶ月で、現在は数件の受注を得ている状況。1年後には職人の人件費分の収益を上げることが目標。住宅を注文されたお客様だけでなく、建築設計事務所から店舗用の家具の受注も入っている。実績を増やしていき、既製品にはない無垢の素材の良さを宣伝していく予定である。

住空間に100パーセント
マッチする家具を目指して

当社はオリジナルの「制震外断熱工法」で「木造の注文住宅」を提供しています。注文住宅を建てるお客様は住まいへのこだわりが強く、「家は気に入っているが、希望にマッチしたデザインやサイズの家具がない」という声を聞きます。これまでも家に調和する家具の依頼もあったのですが、当社では製造ができず外注していました。しかし、当社を信頼して住宅を注文くださったお客様の要望に応えたいという思いはあり、事業の構想は3年前から持っていました。

住宅から家具までオーダーメイドとすると、予算がオーバーしたり、希望に叶わず妥協することもありました。当社で家具を内製化すれば価格も抑えられますし、家の引渡しと同時に部屋に調和した家具が設置されていたら、お客様の喜びも高まると思います。

ショールームを兼ね備えた
家具工場の完成

家と家具では設備や加工技術が

異なるので工場を新設しました。土地探しから工場建設、設備導入、職人の採用とまさに新規事業でした。補助金はこの中の設備に活用しました。パネルソーや横切盤、プレス機を導入でき、住宅建築用機械ではできなかった作業を実現しました。建屋の造りは外から工場内の様子が見えるオープン型で、ショールームの役割も設けています。

1年後には収益を出すための営業戦略を練っています。現在打ち合わせ中、建設中、そして今までも引き渡しをさせていただいたお客様へも、家具のご提案をしています。工場前の道路は週末、行楽で交通量が多く、また渋滞もするので、少しでも目を引くよう看板やノボリを立てて露出を高めました。「手作り家具」に着目し立ち寄ってもらえたらと思っています。販売促進でやりたいことはたくさんありますが、私一人では手が回りません。事業化に時間を割けるよう今年度中にスタッフを採用し、社内体制を増強予定です。

生涯に渡って快適な住まいを提供するため、家の引渡し後も訪問し、お話を聞くようにしています。継続的な関係を大事にしていきたいです。